

2023\_0917「浅間山千トン岩（動画）」日々の理科 3328号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

浅間山を北麓から見ると、火口壁に小さな出っ張りがあるのに気づきます。これは地元では「千トン岩」と呼ばれています。1950年（昭和25年）9月23日の噴火で、火口内から吹き上げられて、火口壁に落ち着いた巨大な「火山岩塊」の一つです。実際には千トンではなく三千トンぐらいあるようです。

その千トン岩は、私の山荘から見ると、ちょうど火口の右縁にあります。その千トン岩のあたりは、火口底の噴気活動が最も活発で、まるで千トン岩から噴気が発生しているようにも見えます。早朝に浅間山観測カメラを望遠にして、その様子を撮影してみました。

(2023年9月中旬／北軽井沢)

